



めじかじ通信

航海一ツ

めじかじ市民記者ネットワーク

市民記者の目から見た「こもろ」を発信していくページです。ちょっとへんてこりんな名前「めじかじ」。意味は「め＝目」と「じ＝耳」を使って、発見への「かじ＝舵」をとろう。こうご期待！
またガッツのある取材記者を募集します。

▼問い合わせ先 企画課 市民協働推進係



コピーヌクラブのメンバーと共に（写真左）。次回ギャラリーコンサートはシンガーソングライターの干川さんを迎え、2月6日14時～。料金1,000円。その他公演・出演依頼などはホームページ参照 <http://ctk12ch.wix.com/copineclub>

生の音楽をもっと身近に感じてほしい

コピーヌクラブ代表・ピアノパフォーマー 竹鼻 恵子さん(47歳)

本町の「ギャラリー紙蔵歩」に軽快な音楽が響く。コピーヌクラブは、ピアノの竹鼻恵子さん、フルートの椎名真美子さん、ヴァイオリンの吉田枝理佳さんの3人で平成21年に結成。26年夏からは、定期的にこのギャラリーでコンサートを行なっている。蔵を改造した室内は、木の造りと高い天井のおかげで音響が良く、「生音の良さが楽しめる」と好評だ。1年目は毎月開催、2年目からは隔月開催となった代わりに朗読や語りなど毎回様々な分野のゲストを招いてコラボレーションしている。時にはコントも披露。音楽だけではない楽しみが満載だ。「コンサート目的ではない方にも足を止めて頂き、聴いて良かったと

感じて頂けることを目標にしています」と竹鼻さん。生の音楽を楽しめる窓口になればという思いから、心掛けているのは、敷居の低いコンサート。幅広い年齢層が訪れるので、ジャンルが偏らないようにクラシックを軸にポップス・ジャズ・映画音楽・演歌・ラテンなどオールジャンルから、誰もが知っている短めの曲を選んでいる。大きな会場ではなく、観客と同じ目線でもトークを交えながら演奏するのも、音楽に親しみを感じてほしいという思いからだ。

3年ほど音楽から離れて働いているときに結婚し福岡から小諸に移り住んだ。見知らぬ土地で独りきり。嫁入り道具のピアノを弾いて寂しさを紛らわせていると、その音を聞いた近所の人から「ピアノを教えてほしい」と頼まれた。音楽に関わる楽しさを再認識させてくれたピアノ教室は20年続いている。一方で聖歌隊の仕事を通して「コピーヌ(＝フランス語で『気の合う仲間達』)と出会い、ここ数年は教室の規模を縮小。教えるから演奏する」にシフトチェンジしている。



東信地域を中心にイベント会場やパーティなどでも演奏している

「将来は音楽で稼げるようになりたいです。その分、自主コンサートはワンコインか無料にして、うまれた演奏者を育てたり音楽の魅力を広める活動に還元したいです。有名になるより、名物になれば楽しいですね」。そんな夢を語る竹鼻さんの肩書は「ピアノパフォーマー」。ピアノを通じて色々なことを表現する竹鼻さんに相応しい。

(取材・文 村松 マヤ)

ゆらさんの四季の薬膳

2月、二一番の風邪予防

2月4日は暦の上では立春とはいえず、信州では本格的な寒さの真つただ中です。暖冬といわれる今年ですが、1日の温度差が10度など当たり前。冷えと寒暖の差が免疫力を下げ、風邪をひきやすくなります。なかでも、悪寒や体の節々の痛みが特徴の「風寒感冒」には気をつけたいものです。

寒気がして風邪かなと思つたら、辛味で発汗を促し、体を温める作用のある生姜、ねぎ、シソなどをたっぷり使った鍋やおかゆ、スープがおススメ。今日紹介したいのは、甘酒を使ったおかゆです。水1リットルを沸騰させた鍋にお米1/2カップと親指大の生姜(薄切り)を入れ、沸騰したら蓋をずらして弱火で30分くらい煮ます。出来上がり直前に甘酒100ccを加えて5分蒸らし、塩少々で味を調えたら、盛りつけ後に針生姜をたっぷり載せましょう。インド式に、生姜と黒砂糖、シナモンに熱湯を注いだ飲み物を飲んで寝るのも効果的。ぜひお試しを。

(国際中医薬膳師 小清水由良)